

## 全天候型施設の施設概要等の報告について

### (1) 全天候型施設の施設概要

令和 4 年 4 月 19 日  
芦屋港活性化推進室

# (1) 全天候型施設概要

- 観光動向調査結果を踏まえ、全天候型施設の導入機能を以下のとおり整理しました。

## 【全天候型施設導入機能の考え方】

芦屋町の**独自性を活かしたコンテンツである砂像**は認知度や期待が高く、**砂像の屋内常設展示への期待も高い**ため、芦屋町の観光集客施設となる全天候型施設の活用方法は、令和2年度の基本方針に準じて、「**砂像屋内常設展示施設**」とする。

砂像屋内常設展示施設  
(全天候型施設) の配置



# (1) 全天候型施設概要

- 砂像を屋内に制作展示するためには、現在イベントとして開催している「あしや砂像展」がベースとなることから、このイベントの「砂像プロデューサー」をはじめ、砂像制作に欠かせない型枠設置など現場作業の大半を担う「芦屋町商工会工業部会」、展示における「演出（音響、照明等）を当初から担っている事業者」などの関係者と協議を重ね、施設概要を次のとおり整理しました。

## 【施設の名称】

砂像展示劇場・サンドシアター（仮称）

## 【整備主体】

芦屋町

## 【施設の概要】

- 海外プロ彫刻家によるハイクオリティな砂像を制作・展示する。
- 砂像作品は、テーマをもとに毎年入れ替え（制作）を行う。展示期間は10月から翌年7月を想定し今後検討。
- 集客性を高めリピーターを確保するため、既存の音響・照明による演出に加え、デジタル技術の活用などによる演出により、他にない新しいスタイルによる劇場型の展示施設とする。
- 芦屋町の観光集客拠点と位置づけ、来訪者の町内回遊性を高め、芦屋町の経済効果を高める施設とする。
- 砂像を芦屋町ブランドのひとつと位置づけ、シビックプライドの醸成や人材育成に繋げる施設とする。

## 【施設の規模等】

- 経営シミュレーションや効果的な制作・展示・演出の視点から次のとおりとする。ただし、設計においてさらに精査する。
  - ・鉄骨造（砂像展示部分はスラブなし）
  - ・延床面積：3,000㎡（砂像展示部分：2,500㎡程度）
  - ・高さ：12m程度

# (1) 全天候型施設概要

- 施設の配置は下図のとおりとします。

芦屋港活性化基本計画にて示した位置より緑地帯側に寄せた配置とする。



- 周辺整備

- ・賑わい創出（イベント開催を含む）や憩いの場として広場を併せて整備する。
- ・現在開催している「あしや砂像展」は町民参加型として期間限定にて開催する方向とし、この広場を活用することで施設と相乗効果を創出するよう検討する。
- ・来場者用の駐車場を隣接し整備する。

# (1) 全天候型施設概要

## ● 施設整備計画

	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
施設		●—————● 設計	●—————● 工事	●—————● 砂像製作	● 開業
広場・駐車場		●—————● 設計	●—————● 設計の結果により工事等	●—————●	● 開業
運営計画			指定管理者選定	開業準備	

## ● 運営計画

- ・運営方法                    指定管理者制度
- ・年間来訪者見込み        精査中
- ・経営シミュレーション    精査中

全天候型施設イメージパース（アイレベル）



芦屋港活性化基本計画より

## ● 施設整備に関する国庫補助事業概要

- ・交付金名称            地方創生拠点整備交付金（所管：内閣府地方創生推進事務局）
- ・事業名                砂像が織りなすエンターテイメント空間 ～「砂像展示劇場・サンドシアター」整備事業～
- ・事業期間              令和4年度から令和6年度（3年間）
- ・総事業費              894,518千円（概算）
- ・交付金額              助成率1/2    447,259千円（概算）